

1. 中間決算概況





連結

売上高 8,427 百万円 (前期比 173.6 % ↑)

当期利益 272 百万円 (前期比 67.6 % ↑)

単体

売上高 166 百万円 (前期比 93.5 %)

当期利益 12 百万円 (前期比 87.5 %)

当社は、2005年4月1日付で会社分割を実施し、純粹持株会社に移行しております。
そのため、当中間期より単体における主な収益源は、情報サービス関連売上に代わり、子会社からのロイヤリティ収入となっております。

2005年度中間期実績（予想比 / 前年比）【連結】



単位：百万円

	2005年中間期		期初計画 達成率	前年比
	数値	構成比		
売上高	8,427	100.0%	103.9%	273.6%
営業利益	651	7.7%	130.9%	243.0%
経常利益	605	7.2%	132.9%	240.6%
中間純利益	272	3.2%	148.4%	167.6%

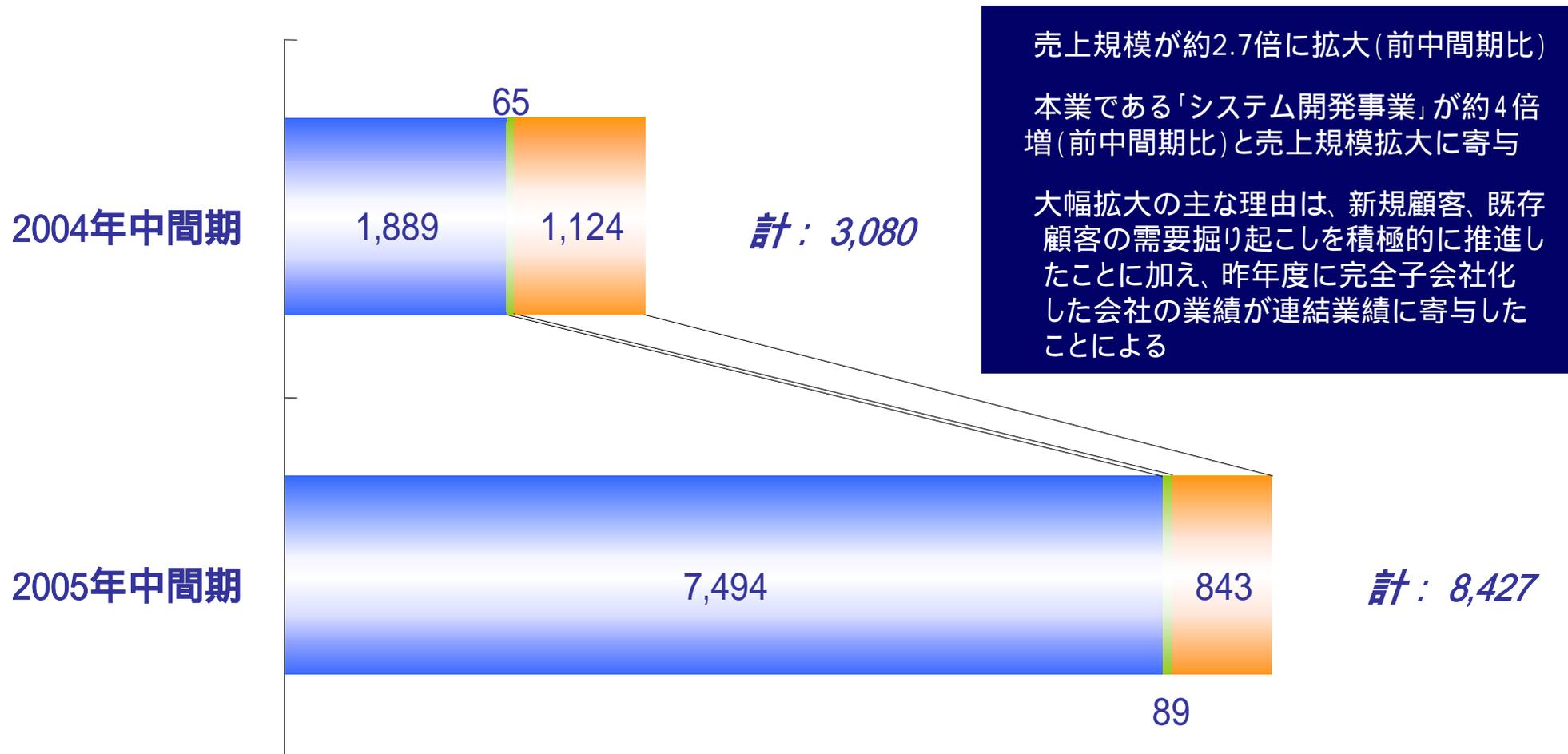
単体の実績につきましては、当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っておりますので、本章では記載を省略させていただきます。単体の数値につきましては別紙の『数値編』をご覧ください。

事業区分別売上高推移



■ システム開発事業 ■ ソフトウェア製品事業 ■ 情報関連商品事業

単位: 百万円



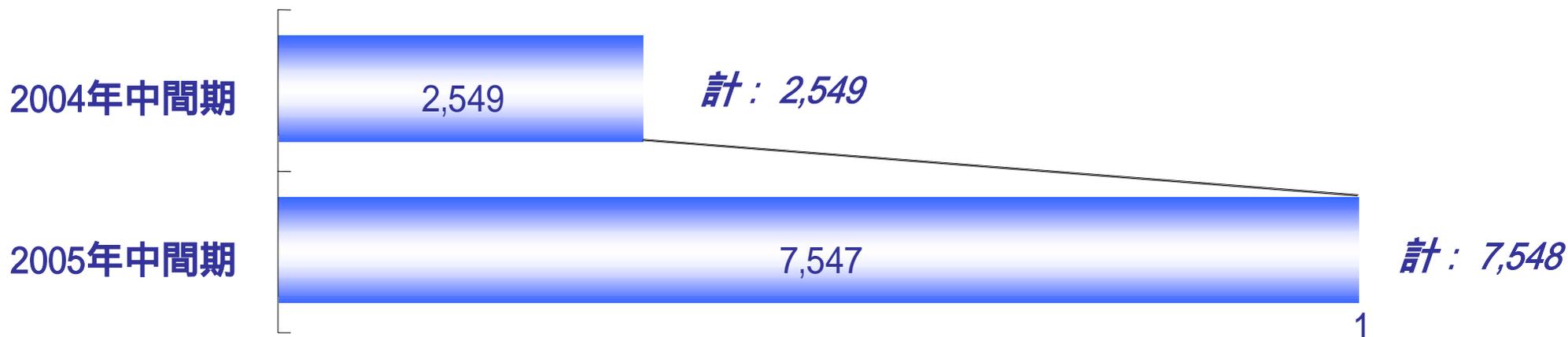
所在地別売上高推移



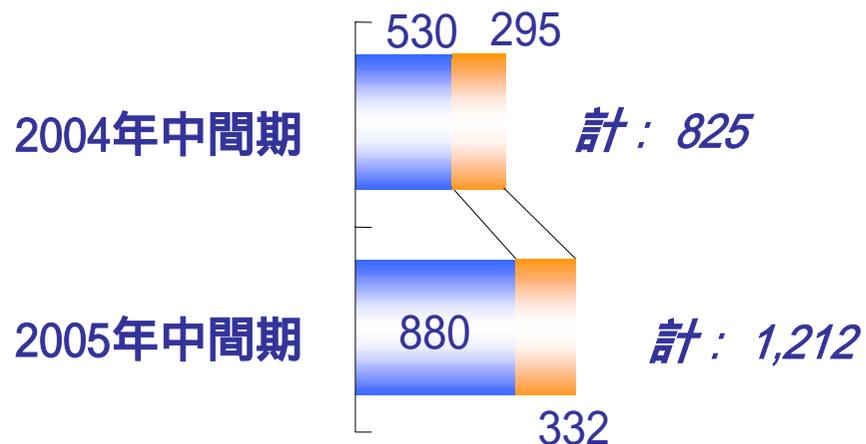
■ 外部顧客に対する売上高 ■ 内部顧客に対する売上高又は振替高

単位: 百万円

【日本】



【中国】

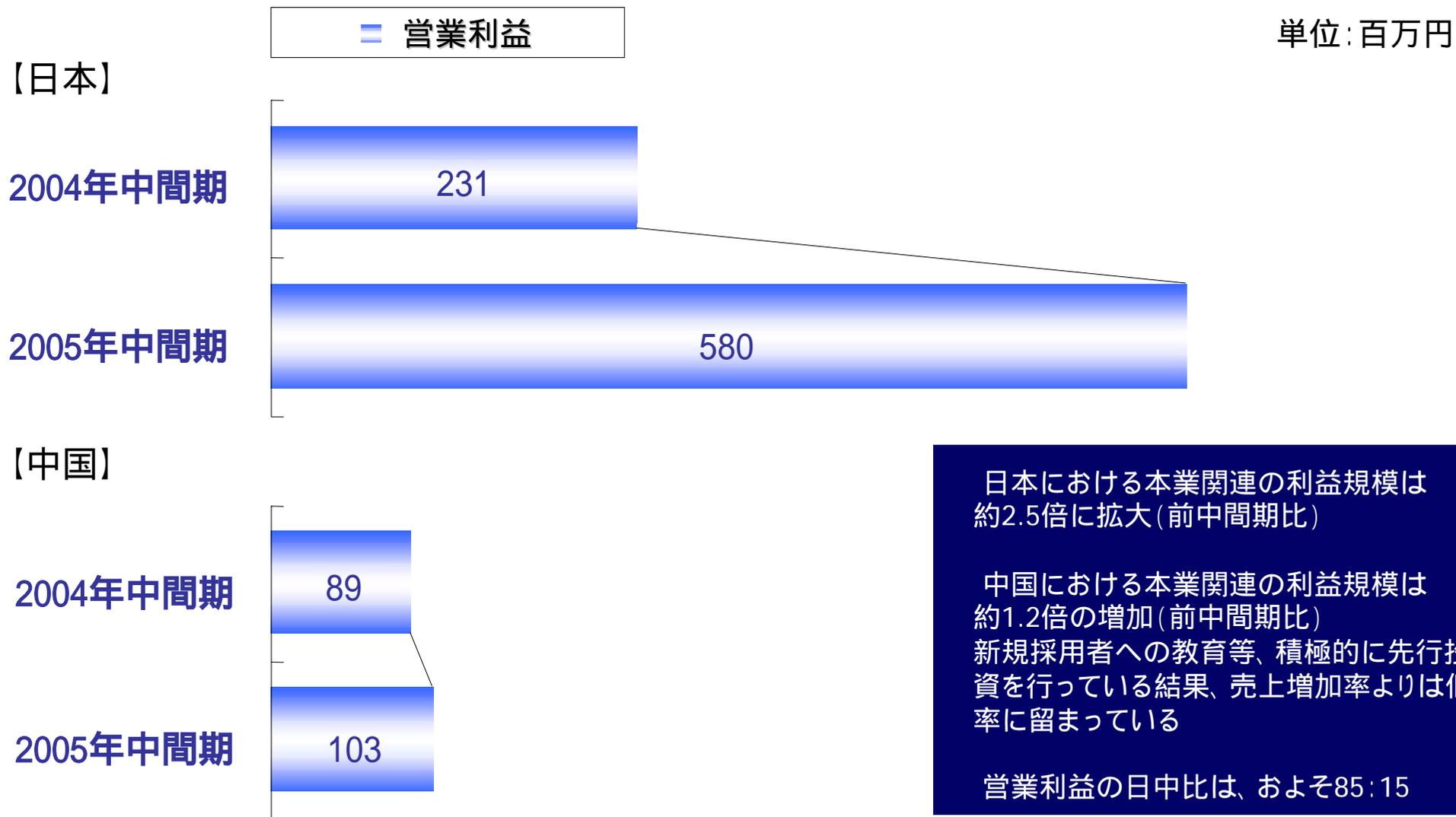


日本における売上規模が約3倍に拡大
(前中間期比)

中国における売上規模(外部顧客)は
約1.7倍に拡大 (前中間期比)
中国国内向けSI案件の受注が好調に推移

売上高の日中比は、およそ90:10。
中国の売上も伸びているが、それを上回り
国内事業会社の子会社化等による効果が
大きい

所在地別利益高推移



バランスシート概要 【連結】



単位:百万円

		2004年中間期		2005年中間期		増減	
		数	値	構成比	数		値
資産の部	流動資産	3,969	77.8%	10,486	73.7%	6,516	
	固定資産	1,131	22.1%	3,735	26.2%	2,603	
	繰延資産	4	0.1%	7	0.1%	3	
	資産合計	5,105	100.0%	14,228	100.0%	9,123	
負債の部	流動負債	1,486	29.1%	5,486	38.6%	4,000	
	固定負債	178	3.5%	642	4.5%	463	
	負債合計	1,665	32.6%	6,128	43.1%	4,463	
少数株主持分		258	5.1%	306	2.1%	47	
資本の部合計		3,181	62.3%	7,793	54.8%	4,612	
総資産		5,105	100.0%	14,228	100.0%	9,123	

キャッシュフロー概要【連結】



単位：百万円

	2004年中間期	2005年中間期	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	330	605	936
投資活動による キャッシュ・フロー	538	9	548
財務活動による キャッシュ・フロー	448	961	473
現金及び現金同等物 中間期末残高	1,467	5,660	4,192

2 . 企業活動概要



経営統合の実質効果をより一層発揮し、基盤作りと共に、
グループイメージの浸透と収益性を高める

スケールメリットが出るように、大型案件への取組みを強
化する

海外市場における高成長を実現する



国内部門

【中間期の取組み】

- **管理部門一元化** → 本社の持株会社化 / 子会社(TCCとア化'ート)合併の決定
- **持株会社統治** → M&Aの推進、子会社合併等、持株会社主導の経営に移行
- **営業・開発協力** → 営業・開発の共通基盤の整備
- **総合力アピール** → 紙面広告やHP、営業を通じた顧客への総合力アピール実施
- **専門分野への特化** → 日系企業向けEDIサービス、資材調達システムの製品化
- **その他** → アルファテック・ソリューションズ株式会社の取得

海外部門

【中間期の取組み】

- **海外持株会社設立** → 香港での持株会社の設立
- **優良会社子会社化** → 福建十方文化伝播有限公司及びその他の子会社化
- **中期大型案件獲得** → 政府系大型PJ受注への取組
- **コンシューママーケット模索** → Web広告会社の取得、金融製品の製造・販売分野への取組



実施重点施策

1) グループ経営

- 日本、中国両地域でのホールディング会社設立によるグループ統治の強化
- 中国ホールディング会社の株式上場
- グループ内各社重複機能を統合することによる効率化と収益性向上
- 引き続き補完関係にある会社との資本提携の模索

2) SIサービスにおける得意分野へのフォーカス

- 通信、金融、電子商取引等分野への資源の集約
- 日本と中国の双方で、同じ分野への事業展開を協調しながら推進することによる相乗効果と収益性向上

3) ビジネスアライアンスの積極的推進

- 企業間取引(E DI等)、セキュリティ、流通等の安定的な収益分野におけるビジネスアライアンスの推進



実施重点施策

4) 中国市場の本格開拓

- 従来型SIサービスの迅速な規模拡大
- 有力日本企業との提携による中国市場開拓の加速
- 有力中国企業との提携による一般コンシューマ向け電子商取引サービス、携帯ソフトウェアの設計・開発、医療先端分野の開拓

5) サービスの質的向上

- スタッフのプロフェッショナルとしてのレベルアップ

6) コストの最適化

- 従来の強みである分散開発体制の量的・質的強化
- 他社が追従できないコスト競争力の構築



数値目標：2008年度に、日本側250億、中国側150億の売上、10%以上の営業利益率

日本
「特色あるSI企業」として、迅速に「中堅クラス規模」(売上数百億円)へと成長

中国
日本向け開発ノウハウを活用し、中国トップクラスのITサービス企業へと成長

株)SJホールディングス

- 〔収益基盤の強化及び業務系人材の補充〕
TCC、アイビートとの統合及び両社の合併
- 〔インフラ技術/人材及び顧客基盤の強化〕
アルファテック・ソリューションズ(株)の取得
- 〔得意分野の模索〕
EDIサービス、流通サービス、調達サービス等へのフォーカス
- 〔従来の強みである分散開発体制の強化〕
規模拡大、CMM取得等
- 〔従来型SIサービスの規模拡大〕
政府系PJの受注拡大、金融SI分野への取り組み
- 〔ITサービス分野の開拓〕
WEB広告ビジネスへの取り組み



数値目標: 2010年度に、日本側500億、中国側500億の売上、10%以上の営業利益率

日本
「特色あるSI企業」として、迅速に「中堅クラス規模」(売上数百億円)へと成長

中国
日本向け開発ノウハウを活用し、中国トップクラスのITサービス企業へと成長

株) SJホールディングス

- 〔フロントSE人材の強化〕
人材育成の強化と有力会社のM & Aによる補完
- 〔強い分野の確立〕
現在の模索の加速化

- 〔コアコンピタンスの強化〕
水平分業である分散開発ブラッシュ・アップ

- 〔ITサービスの強化〕
電子商取引、ポータルサイト等、高成長、高収益が見込め、かつ日本のノウハウが生かせる分野への取組み
- 〔基幹分野SIに参入し、主要プレーヤへの成長〕
政府系、金融分野SIの主要プレーヤになるべく、重要な施策を実現し、全国規模(数十か所)サービス網の確立

中期目標及び体制構想 (設立予定を含む)



数値目標: 2008年度に、日本側250億、中国側150億の売上、10%以上の営業利益率

日本
「特色あるSI企業」として、迅速に「中堅クラス規模」(売上数百億円)へと成長

中国
日本向け開発ノウハウを活用し、中国トップクラスのITサービス企業へと成長

株(S)ホールディングス

(株)サン・ジャパン 事業内容: ITコンサルティング、SI、システム受託開発

(株)ティーシーシー 事業内容: 業務コンサルティング・ソフトウェア開発・アウトソーシング

(株)アイビート 事業内容: 業務コンサルティング・ソフトウェア開発・アウトソーシング

アルファテック・ソリューションズ(株) 事業内容: コンピュータシステムのトータルソリューション・サービス
(2006年1月より連結対象になる予定)

香港中間持株会社

聯迪恒星電子科技(上海)有限公司 システム開発・中国子会社の管理・運営

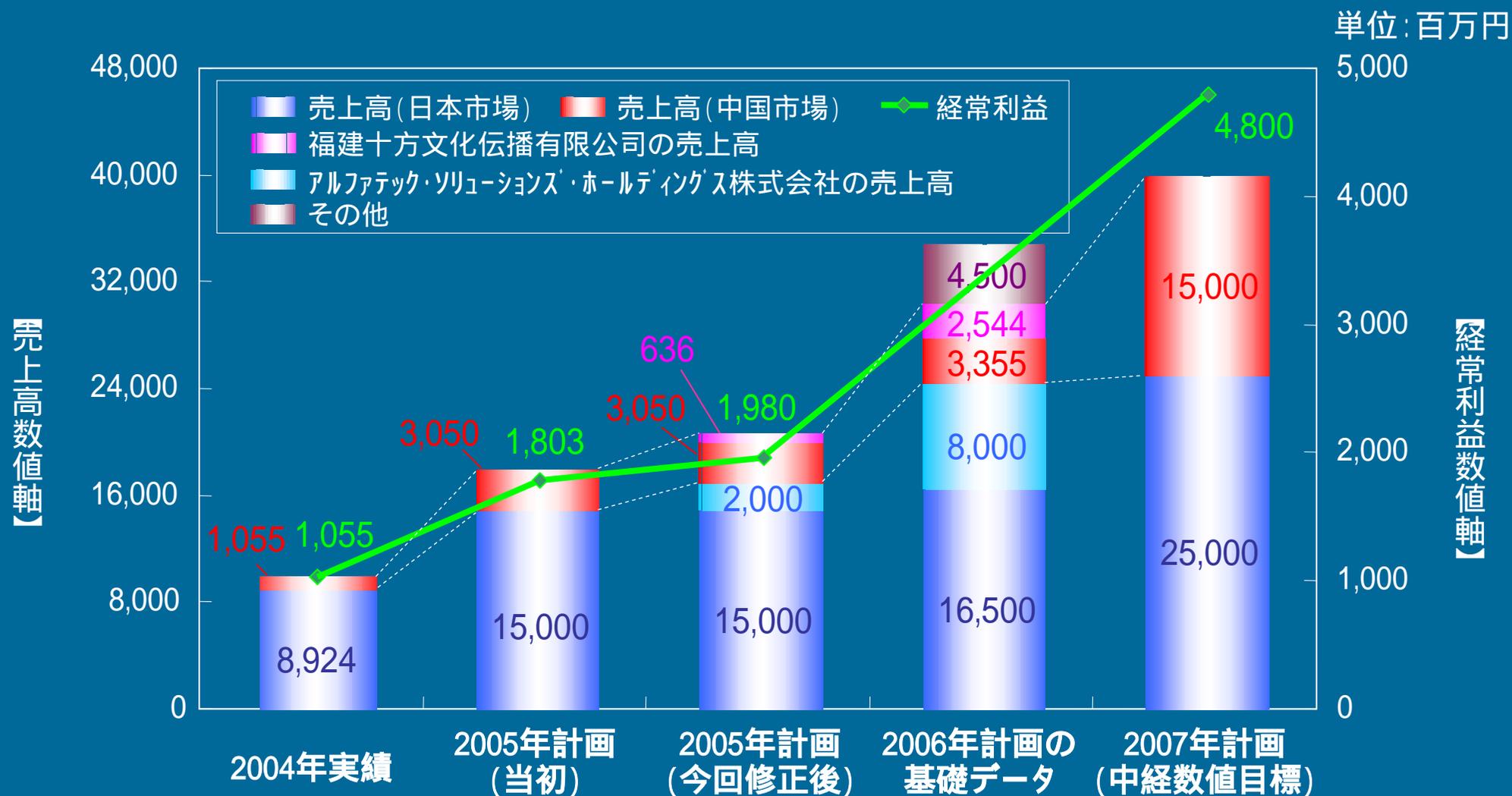
南京日恒信息系统有限公司 事業内容: 日本及び中国進出日系企業向けソフトウェアの開発

安徽科大恒星電子商務技術有限公司 事業内容: 中国国内及び日本向けe ビジネス事業、ソフトウェアの開発

福建十方文化伝播有限公司 事業内容: 新聞・TV・インターネット広告
(2006年1月より連結対象になる予定)

その他 + **新たなグループ企業**

中期経営計画の数値目標に対する進捗状況【連結】



2005年の数値につきましては業績予想の数値であります。2006年の数値につきましては、これまでの実績を思料し参考までに記載したものであり、来期の計画数値ではございません。2007年の数値につきましては、当社の中期経営計画の数値目標として平成16年11月15日に発表させていただいた数値であります。これらの数値は、本資料発生日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3 . 2005年度の業績見通し



平成18年3月期の業績予想修正について



平成18年3月期中間(平成17年4月1日～平成17年9月30日)連結の業績

【修正結果】

単位:百万円

	売上高	経常利益	当期純利益
当初予想 (平成17年5月19日発表)	8,109	455	183
今回実績 (平成17年11月10日発表)	8,427	605	272
増減額	318	149	88
増減率(%)	3.9	32.9	48.4

【修正理由】

- 日本におけるグループ会社の営業活動一体化の成果が現れてきていることに加え、堅調な設備投資需要に支えられた受注が好調に推移。また経費が計画より抑制された。
- 中国においても、高い経済成長に支えられ、計画通りの業績を上げた。

単体の業績予想につきましては、当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っておりますので、公表を差し控えさせていただきます。

平成18年3月期の業績予想修正について



平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)連結の業績予想

【修正結果】

単位:百万円

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (平成17年5月19日発表)	18,050	1,803	911
今回修正 (平成17年11月15日発表)	20,686	1,980	1,039
増減額	2,636	177	128
増減率(%)	14.6	9.8	14.1

【修正理由】

- 福建十方文化伝播有限公司(本店:中国福建省。主な事業:新聞、テレビ、インターネット等の広告代理業)及びアルファテック・ソリューションズ・ホールディングス株式会社が第4四半期より連結対象会社となり、連結業績に寄与してくるため。

上記予想につきましては、本資料発生日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、単体の業績予想につきましては、当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っておりますので、公表を差し控えさせていただきます。



単位:百万円

	通 期	
	数 値	前期実績比
売 上 高	20,686	198.3%
営 業 利 益	2,062	188.0%
経 常 利 益	1,980	187.7%
当 期 純 利 益	1,039	-%

単体の業績予想につきましては、当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っておりますので、公表を差し控えさせていただきます。



本資料の記載事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。今後の業績につきましては、様々な要因によって予想数値と異なる可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

【別紙】 数值編



2005年度中間期実績 前年比【連結】



単位：百万円

	2004年中間期		2005年中間期		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	3,080	100.0%	8,427	100.0%	273.6%
営 業 利 益	268	8.7%	651	7.7%	243.0%
経 常 利 益	251	8.2%	605	7.2%	240.6%
特 別 利 益	-	- %	21	0.2%	- %
特 別 損 失	0	0.0%	125	1.5%	- %
中 間 純 利 益	162	5.3%	272	3.2%	167.6%

2005年度中間期実績 前年比【単体】



単位：百万円

	2004年中間期		2005年中間期		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売上高 (営業収益)	2,549	100.0%	166	100.0%	6.5%
営業利益	200	7.8%	56	34.0%	28.3%
経常利益	176	6.9%	23	14.4%	13.5%
特別利益	-	-%	-	-%	-%
特別損失	0	0.0%	-	-%	-%
当期純利益	99	3.9%	12	7.5%	12.5%

当社は、2005年4月1日より純粋持株会社に移行いたしております。

2005年度中間期実績 予想比【連結】



単位：百万円

	期初予想値		2005年中間期		達成率
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	8,109	100.0%	8,427	100.0%	103.9%
営 業 利 益	497	6.1%	651	7.7%	130.9%
経 常 利 益	455	5.6%	605	7.2%	132.9%
特 別 利 益	-	-%	21	0.2%	- %
特 別 損 失	-	-%	125	1.5%	- %
当 期 純 利 益	183	2.3%	272	3.2%	148.4%

2005年度中間期実績 予想比【単体】



単位：百万円

	期初予想値		2005年中間期		達成率	
	数	値	構成比	数		値
営業収益	-	-	-%	166	100.0%	-%
営業利益	-	-	-%	56	34.0%	-%
経常利益	-	-	-%	23	14.4%	-%
特別利益	-	-	-%	-	-%	-%
特別損失	-	-	-%	-	-%	-%
当期純利益	-	-	-%	12	7.5%	-%

当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っておりますので、単独の業績予想については差し控えさせていただきます。



単位：百万円

	2004年中間期		2005年中間期		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
給与手当	120	27.3%	328	26.3%	271.6%
研究開発費	3	0.8%	1	0.1%	29.9%
旅費交通費	25	5.8%	43	3.5%	171.4%
その他	292	66.1%	875	70.1%	298.8%
販管費合計	443	100.0%	1,247	100.0%	281.9%

(数値は連結)

バランスシート概要 【連結】



単位:百万円

		2004年中間期		2005年中間期		増 減
		数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
資産の部	流動資産	3,969	77.8%	10,486	73.7%	6,516
	固定資産	1,131	22.1%	3,735	26.2%	2,603
	繰延資産	4	0.1%	7	0.1%	3
	資産合計	5,105	100.0%	14,228	100.0%	9,123
負債の部	流動負債	1,486	29.1%	5,486	38.6%	4,000
	固定負債	178	3.5%	642	4.5%	463
	負債合計	1,665	32.6%	6,128	43.1%	4,463
少数株主持分		258	5.1%	306	2.1%	47
資本の部合計		3,181	62.3%	7,793	54.8%	4,612
総 資 産		5,105	100.0%	14,228	100.0%	9,123

バランスシート概要 【単体】



単位:百万円

	2004年中間期		2005年中間期		増減	
	数値	構成比	数値	構成比		
資産の部	流動資産	3,280	69.7%	676	8.7%	2,604
	固定資産	1,424	30.2%	7,129	91.2%	5,705
	繰延資産	4	0.1%	7	0.1%	3
	資産合計	4,709	100.0%	7,814	100.0%	3,104
負債の部	流動負債	1,509	32.0%	1,516	19.4%	7
	固定負債	178	3.8%	-	-%	-
	負債合計	1,688	35.8%	1,516	19.4%	171
資本の部合計	3,021	64.2%	6,297	80.6%	3,275	
総資産	4,709	100.0%	7,814	100.0%	3,104	

キャッシュフロー概要【連結】



単位：百万円

	2004年中間期	2005年中間期	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	330	605	936
投資活動による キャッシュ・フロー	538	9	548
財務活動による キャッシュ・フロー	488	961	473
現金及び現金同等物 中間期末残高	1,467	5,660	4,192